





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



2020-2021 国際ロータリーのテーマ  
**ロータリーは機会の扉を開く**

2020-2021 RI会長  
 ホルガー・クナーク  
 <ドイツ>



**第1544回例会 令和2年7月14日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 我等の生業 平澤理ソングリーダー



- ゲスト・ビジター紹介
- ・伊那ロータリークラブ会長 藤澤洋二 様
  - ・伊那ロータリークラブ幹事 小松猷臣 様
  - ・信州大学 農学博士・助教 根本和洋 様
  - ・支援留学生 ディピティ ヴィターナゲ サンジーク プブドゥ クマラ 様

■ 会長談話 藤澤健二会長



こんにちは。梅雨時なのにスコールのような豪雨、単なる風邪のようで怖くないと噂もあったコロナ、そして地震にも負けない、そんなロータリークラブを出来る限り目指したい訳ですが。

コロナ感染症により、伊那市でも学校を始め、様々な業種など、新しい生活のスタイルに変わりつつあります。また、十年後には止められない人口減少もある訳ですが、このコロナ感染症を経験することにより、“人事を尽くして天命を待つ、では無いですが、準備を整えておきなさい。と言われてるような気持ちさえます。

因みに、伊那市の人口推移からですが1980（昭和55年）代の年少（0歳～14歳）1万5千人程、老年（60歳以上）8700人程、だったのに対して、2020年は年少（0歳～14歳）8千500人程、老年の方（現在は高齢者を65歳以上と定義）2万1千500人程と逆転をしております。そんな訳で、私事ですが、昨年一年間、月に一度のペースで介護施設と、障害者施設に弾き語りや歌のボランティア活動をしてきました。但し残念なことにインフルエンザ予防とかも合わせ半年ほど行っておりません。今回は私なりに介護施設にて学ばせて頂いたこと、話をさせて頂ければと思います。

ご存知かと思いますが、男性の方より女性の平均寿命は長いです。長ければ良いと言う訳ではないと思いますが、何故か？男性の方は施設内において孤独を楽しんでいらっしゃる方が平均的に多いのだそうです。女性の方は男性より他人に合わせる事が上手に出来るので、施設内でのイベントにも積極的に参加をして楽しんでいらっしゃいます。しかしながら、女性の方に「友達が出来ましたか？」と聞いたところ、「この歳になって知らない人と友達にはなれない」と答えられました。「気を遣う」「本当は家がいいけど帰る家もない」「やっぱり家がいい」おっしゃっていただきました。子は親のことも考えて事情もあり、それでも親は子どもの親であるから…。何とも言えない寂しさを感じました。

最後に「人と言うのは最後の最後まで学び」なんだと思います。

以上、今回の談話とさせていただきます。

## ■ ニコニコボックス

- ◆藤澤健二 伊那RC会長 藤澤洋二様・伊那RC幹事 小松献臣様・信州大学助教 根本和洋様・支援留学生 サンジューワさん。来訪を歓迎致します。
- ◆多田浩之 伊那RC藤澤洋二会長・小松献臣幹事、ようこそいらっしゃいました。根本和洋助教・サンジューワさん、本日はよろしくお祈りします。
- ◆熊谷健 伊那RC藤澤会長・小松幹事、ようこそ。根本先生・留学生のサンジューワさん、ようこそお越しくださいました。  
久し振りにニコボックスに入れさせていただきます。
- ◆松田靖宏 根本先生とサンジューワさんの来訪を歓迎いたします。例会、楽しんでいってください。
- ◆井上修 今朝、高遠に用事があり、三峰川の崩落現場が修復されたというので通りました。施工業者が池田建設というので、心配で心配でたまりませんでした。

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

### ・「ロータリーの友」7月号紹介 小川秋實ロータリー情報副委員長



RI会長メッセージ（7頁）は、コロナ騒動の時期だからこそ、ロータリーが改革し、成長するチャンスだ。世界は変化しているので、ロータリーも変わらなければならない。オンライン会合など、デジタル時代に適応した団体になるとともに、若い人に入会してもらえよう、若い人の考えを取り入れなければならない。世界はロータリーを必要としている。ロータリーが「機会の扉を開こう」。なお、今期のロータリー・テーマ「機会の扉を開く」は、抽象的で、分かりにくい。平たく言うと、会員の生活や地域を豊かにするためにいろんなことをしようということ。

ホルガー・クナークRI会長の人物像が詳しく述べられている（8-19頁）。タイトルの「Young at heart」は、「気が若い」ということ。ドイツ人として初めてRI会長に就任。北ドイツの湖と森林が多い地方の出身。ネクタイを締めず、ジーンズを好むという、型破りな性格。家業のベーカリーを継いだときは、業界で初めて、無農薬の小麦粉を使ったり、工場でパンを焼かないで店舗で焼く方式を導入したりした。ロータリアンとなってからは、青少年交換プログラムで活躍。人生で一番大事なものは、お金ではなく、仕事を楽しみ、人生を楽しむこと。仲間と一緒にいるのは楽しい。だからクラブは大事という。

ガバナーの横顔（20-37頁）では、日本の全地区のガバナーの人物紹介。下段の囲み欄に、全ガバナーが同じ設問に答えているので、各ガバナーの特徴が分かり、興味深い。

大人の着こなし図鑑（54頁）は、ワイシャツについての豆知識。今月号の連載コミック（57-63頁）は、ポール・ハリスの生い立ちについて。

個性的なクラブの紹介（69頁）は、チュニジアのラマルサインパクトRC。2018年創立。会員24人。2/3以上が女性。パソコン技術を活用し、若い職業人の育成に重点。月2回夜に例会。会費は135ドル。学生会員には割引。

縦組み（4-8頁）には、高田明氏（ジャパネットたかたの前社長）によるIMでの基調講演の要旨。ジャパネットたかたは通信販売業のトップクラスで、年商2000億円超（2018年）。高田氏は、サッカーチーム・V.ファーレン長崎の代表取締役も務める。講演内容は、彼の人生哲学。日々目標を造って一生懸命にやっていたら、明日は変わる。サッカー選手はサッカーだけ、医師は医療だけ、やればよいとはいえない。いろんな知識と経験が必要だ。秘めた至芸を、ここぞというときに繰り出すべき。

「明日の朝刊を見てください」の商業に1億円かかり、評論家に1年続かないと言われたが、20年続いている。難しい内容でも一般人にも分かるように易しく伝えるべきだ。人生で大事なことは結果ではない。どれだけ一生懸命に生きたかのプロセスだ。などなど、ポジティブな発想が感銘を与える。

友愛の広場（縦組み17頁）に、「Serviceは行動の心構え」の記事。日本のロータリーは、英語の解

積不足から誤解を生じている。英語のServiceは、「人を思いやり、人のためになることをする」こと。すなわち、行動の心構え。Club serviceは、「クラブ奉仕」と訳され、「クラブに対して奉仕する」と考えられてきたが、正しくは「クラブにおいて人のためになる活動をするよう心掛ける」こと。Vocational service（職業奉仕）は、「商売や仕事をするうえで、人を思いやって人のためになることをするよう心掛ける」こと、だという。

■ 出席報告 会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者32名 事前メイク2名  
出席率85.00% 前回出席率 修正なし

## ■ ご挨拶

### ・伊那ロータークラブ会長 藤澤洋二 様



本日はお招きありがとうございます。又、先週は藤澤会長・多田幹事ご来訪ありがとうございました。

私達は同じ地域で互いにロータリー活動を頑張る仲間です。そして又、会員獲得に対しては手強いライバルです・・・。

今年度の上伊那グループIMを3月7日に予定していますのでご協力をお願いします。

一年間よろしく申し上げます。

### ・伊那ロータリークラブ幹事 小松猷臣 様



皆さんこんにちは。伊那ロータリークラブの本年度幹事の小松と申します。藤澤会長と共に力を合わせて有意義な会にしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

又、私は地元荒井で不動産業を長年行っています。伊那中央ロータリーの皆さんの中にも仕事、ゴルフ等でお付き合い願っている方が大勢いますので、ロータリーに於きましても変わらずのお付き合いをよろしくお願い致します。

## ■ 支援留学生紹介・挨拶

### ・根本先生とサンジーワさんの紹介 松田靖宏国際奉仕委員長



今日は、今年度教育助成をさせていただく信州大学大学院 総合医理工学研究科博士課程1年のサンジーワさんと、担当の農学博士・助教 根本和洋先生にお越しいただきましたのでご紹介させていただきます。

私も担当するまで勉強不足でしたが、伊那中央ロータリークラブがこの教育助成を始めてから今年で28年目になります。長い間、交流を続けてこられたのも先生方のご尽力と優秀な学生さんのお陰だと感謝申し上げます。

サンジーワさんにはこれから一年例会等に参加していただき、会員の方々との交流を通じて親睦を深め、スリランカに戻られても日本との懸け橋になっていただける事を願っております。

### ・担当教官挨拶 信州大学 農学博士・助教 根本和洋 様



こんにちは。例会にお招きいただきありがとうございます。そして28年という長きにわたり信州大学留学生へのご支援をありがとうございます。

留学生サンジーワさんの紹介を少しさせていただきます。スリランカで学生レスリング4年連続チャンピオン。スリランカ全国で3位を2回受賞。“気は優しく力持ち”のスポーツマンです。

・支援留学生挨拶 **ディピティ ヴィターナゲ サンジーク プブドゥ クマラ 様**



2018年に信州大学に来ました。2020年に卒業して今は博士課程で研究・勉強をしています。主に蕎麦の品種改良の研究をしています。皆さまのご支援よろしくお願いたします。

■ **委員会事業計画の発表 (パート2)**

今期の事業計画について発表しました。(方針・計画等についてはクラブ計画書をご覧ください。)



・池田幸平ロータリー情報委員長



・宮原英幸出席委員長



・原一馬ロータリー財団委員長

■ **点 鐘** 13:30

次回例会  
7月21日(火) 点鐘 18:30 場所 海老屋料理店  
・夜間例会